



# 岡山市区づくり推進事業助成申込書

(地域活動部門)

令和8年1月13日

岡山市長 様

フリガナ ムサチヨウナイカイ  
団体名 牟佐町内会  
所在地  
連絡先  
フリガナ  
代表者 役職・氏名



※ 提出した申込書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。  
ただし、個人情報に関する部分は除きます。

応募分野	(該当の分野を○で囲んでください。) ア 地域課題解決    イ 地域課題掘り起し ウ 地域計画づくり エ 地域課題解決型の地域組織づくり    オ その他
事業名称	「産地牟佐」にこだわった地域活性化
事業実施小学校区・地区	牧石学区・牟佐町内会
事業実施回数	新規 ・ ○継続 10回目 / 【平成29年度から】
課題	※地域の実情と解決をはかりたい課題、事業実施の必要性について記載してください。  我が地域は、農家が積極的に黄ニラやパクチーを全国的に売り出し、大きな注目を浴びている。一方では、山と川に囲まれた豊かな自然があり、豊かな自然資源が存在するが、今日では、ごく一部の人がそれらに関わるばかりで、一般の住民や子供達がそれらに直接触れる機会はほとんどない。その存在も、ましてやそれらが活用できる資源であることも知られていないのではないかと。日常にある、あるいは身近にあることは知っていても、触れることがないために、その価値を知らない、わからない。これは地域にとっては大変に残念なことと言わざるを得ない。  また、古くから地域に伝わってきたみそづくりの文化の灯が消えかかっており、併せてそれらを次世代へつなぐ世代交代も待たないの課題となっている。
事業の目的	※事業を実施する「目的」を記載してください。  大切な自然の恵みが身近に存在するということを知り、その一部はワークショップ的に活用するなど、より地域に対する愛情、誇り、アイデンティティの醸成などにつないでいく。さらに、それらの資源を加工・販売し、町内に収益として還元できる取組みを継続する。併せて、地域に受け継がれてきた「産地牟佐」手づくりみその文化の灯を消すことなく、その伝承と住民への啓もうを事業の目的に位置付けたい。

事業の内容	<p>※具体的に実施する活動内容を箇条書きで記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町内での農産物被害対策として、猟友会の有害獣の駆除活動の紹介・学習。</li> <li>・町内で駆除されたイノシシ等のジビエ利用や皮革活用（ワークショップ）等を通して自然資源の大切を学ぶ。</li> <li>・小学生を対象に「『牟佐っ子』子ども教室」、大人を対象に「レザークラフト教室」を開催し、「産地牟佐」イノシシ革製品づくりを通して、自然、環境、協働、地域、食、そして郷土愛等々を学びあう。</li> <li>・町内で駆除された獣皮を活用した革製品づくりを継続する中で技術向上に取り組み、引き続き販売を通して「産地牟佐」のブランドづくりに挑戦。</li> <li>・アンテナショップ「みなとかぜ」（赤磐市：就労継続支援 B 型）での製品提供・販売を通して、多様な団体との新たな協働の継続。</li> <li>・町内での蜂蜜づくりの紹介・学習・試食。</li> <li>・地元の旭川で獲れた鮎、川ガニ（モクズガニ）等の紹介・学習・試食。</li> <li>・町内にある自然資源である「太戸の滝」の紹介。</li> <li>・町内の自然や暮らしなど地域をテーマにした写真展の開催（ほのぼの文化祭）。</li> <li>・世代をつなぐ「みそづくり文化」の伝承。</li> <li>・味噌づくりのための「産地牟佐」青大豆を生産する「青大豆プロジェクト」に挑戦。</li> <li>・里山に多種存在する「産地牟佐」の樹木やどんぐりを資源としての活用の調査検討。</li> <li>・もちつき大会等を通して、新鮮野菜からジビエまでいろいろな地元食材を住民に提供し、自然豊かな地元の食資源を知っていただく。</li> </ul>
期待される成果・目標	<p>※事業実施することで、変化すること、期待している成果、事業実施後にどこまで到達しておきたいか「目標」を記入してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地元で獲れた獣皮の活用が身近で行われていること、さらには自分たちもそれに気軽に参画できることを知ることで、すべての世代にとって地域愛の醸成につながる。</li> <li>・害獣皮革製品の販売収益の拡大は、スタッフの励みになり、すべての関係者にやりがい、達成感をもたらす。</li> <li>・ジビエカレー、シシ汁、モクズガニ、はちみつなどの味覚を通して、自然の恵みを知ることから地域愛の醸成につながる。</li> <li>・参加者にはアンケートに協力いただき、意識の変化や事業への期待を読み取り、事業の目的がどの程度達成できているかを調査したい。</li> <li>・みそづくりの技術継承のために残された時間は限られたもので、若い世代のみそづくり参加者が少しでも出てくれば、大きな成果と言える。</li> <li>・里山のどんぐり、樹木などが大切な資源でもあることが体感できるようになれば、まさにSDGs そのものを実現することにつながる。</li> </ul>

<p>企画などの工夫</p>	<p>※通常、日常的に実施している事業をそのまま提案された場合は、対象とならない可能性があります。区づくり推進事業の申請にあたって、何をどう変えたのか、どこに活動の目的や対象をしばったのかなど、企画にあたっての工夫をお書きください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・過去から、有害とされ駆除されるイノシシ等の皮が、当たり前前に活用されることはなかった。町内で捕獲されたイノシシの皮を東京の業者になめしてもらい、町内会が革製品に加工。そして、イベント等で参加者がそれを活用し、獣皮に親しむ。</li> <li>・「産地牟佐塾」が取り組んでいる店頭での獣皮加工ワークショップは、市民の関心が非常に高く特長の一つとして継続する。</li> <li>・「産地牟佐」イノシシ革製品を広めるため、アンテナショップ「みなとかぜ」（就労継続支援B型事業所）を利用する。</li> <li>・町内で蜂蜜づくりに挑戦することで自然資源がいかに関近に存在するかを知ることができる。これらは「産地牟佐」として、地域に対する認識を深めることができる。</li> <li>・みそづくりに提供いただく機器類の老朽化対策は避けて通れないため、リース方式など事業継続可能な手法を継続したい。</li> <li>・前年度は、「プレ青大豆プロジェクト」と銘打って、小さな畑ではあるが、みそづくりのための「産地牟佐」青大豆の植え付けから収穫まで挑戦した。約10キロの青大豆の収穫ができたことから、新年度においては正式に「青大豆プロジェクト」をスタートさせたいと考えている。</li> <li>・里山のどんぐり、樹木を活用した炭、木材として活用した木箱等々、まったく手探りだが調査研究したい。</li> <li>・写真はもちろん、取り組みを動画で記録。インタビュー等により、住民が主役の内容とする。</li> </ul>
<p>協働する団体等</p>	<p>※事業実施にあたり協働することを想定している団体・企業・大学等の名称とその団体間の役割分担について記載してください。あるいは提案団体が既に協働組織となっている場合は、事業実施メンバーの備考欄に団体名をご記入ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町内の猟友会：有害獣駆除およびなめし前までの処理</li> <li>・MATAGIプロジェクトプロジェクト（東京都墨田区 山口産業）：皮のなめし、染作業</li> <li>・岡山県セルプセンター顧問：皮革製品製作指導、加工器具提供</li> <li>・牟佐町内会：関係団体調整、本事業企画・実施、経費負担</li> <li>・牟佐区（農家組織）：被害状況報告、有害獣駆除作業の補助</li> <li>・牟佐町内会子ども会：小学生の参画について企画提案</li> <li>・牟佐まちづくり協議会構成団体（シニアクラブ、婦人部ほか）：ジビエ料理ほか調理、ワークショップ開催</li> <li>・牟佐町内ボランティア：有害獣駆除作業補助、「産地牟佐塾」へ参画</li> <li>・町内の川漁師：川ガニ（モクズガニ）等川資源の提供</li> <li>・町内の養蜂家：「産地牟佐」はちみつを提供</li> <li>・JA女性部有志：みそづくり技術の伝授</li> <li>・JA黄ニラ部会：2月に開催されるであろう岡パク・黄ニラ即売会での「産地牟佐」イノシシ革製品販売のブース設置協力</li> <li>・岡山刑務所：刑務所矯正展において、地元町内会の「産地牟佐」イノシシ革製品販売のブース設置協力</li> <li>・アンテナショップ「みなとかぜ」（赤磐市：就労継続支援B型事業所）：「産地牟佐」イノシシ革製品の展示・販売</li> <li>・里山の自然や炭焼きに精通する専門家：どんぐり等の解説や炭焼き復元アドバイス</li> </ul>
<p>事業の情報公開</p>	<p>※区づくり推進事業は、広く区民へ情報提供することが義務づけられています。地域住民をはじめ区民への情報提供、あるいは情報公開の仕方についてご記入ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町内会新聞やチラシは、町内住民、学区内の町内会長、北公民館、小学校、保育園、市本庁舎および北区役所等関係課へ配布</li> <li>・電子町内会（町内会ホームページ）やFacebookグループ、LINEグループにて情報発信</li> <li>・YouTube等への動画による情報発信</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・報道機関への情報提供</li> <li>・岡山刑務所での矯正展にて、「産地牟佐塾」としても2日間参画し、イノシシ革製品を販売するが、矯正展のチラシにも案内を載せていただく。</li> <li>・パリオリンピック・アーチェリーで活躍した中西選手をはじめ、「産地牟佐」イノシシ革製名刺入れを実際にお使いいただきながら、折あるごとに「産地牟佐」をご紹介いただいている方々によっても、徐々に知られていっている。</li> <li>・新たに令和9年に開設を予定している「牟佐こども園」を運営する予定の「岡山子ども協会」は、子育てに地元の特色を生かす取り組みとして、「産地牟佐」の事業との連携は、園の事業提案でも述べられており、しっかりと連携していきたい。</li> <li>・関係機関のホームページ：岡山市、県民局、中四国農政局、日本ジビエ振興協会ほかネットを通して、市内外に取り組み紹介が広がっているようだ。</li> </ul>
<p>学区地区への広がり</p>	<p>※小学校区・地区より狭い範囲（単位町内会等）での事業を実施される場合は、学区・地区等への活動の広がりや課題の共有などをどのように進めていきますか。取組方について記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学区内へは、「牧石学区ふれあいまつり」へは3回目となる「産地牟佐」イノシシ革製品販売などを通じてPRしたい。徐々に「産地牟佐」の認知度も上がってきたと感じている。</li> <li>・学区内の「牧山クラインガルテンの収穫祭」での獣皮製品販売は既に5回実施。イノシシ革製品に一樣に驚かれるが、徐々に認知されている様子。引き続きチャレンジしたい。</li> <li>・北公民館職員は、既にイノシシ革製品を利用いただいているが、チラシや町内会新聞等を配布。</li> <li>・町内へは、町内会新聞（全戸配布）電子町内会や町内会コミュニティーのFacebookにより一般に情報提供。</li> <li>・学区内へは、町内会新聞を学区町内会長連絡会にて全町内会長に配布。</li> <li>・町内会新聞は、小学校、保育園、市本庁舎・北区役所等関係課等へも配布。</li> <li>・積極的に参画する子ども会との協働の現場を、小学校の校長先生にも参観いただくことにより、市教育委員会取り組みの柱の一つである地域協働学校への発展の可能性は十分にあると考えている。</li> <li>・まずは、大人のレザークラフト教室を学区内へ拡大することを検討したい。</li> <li>・また、市職員さんにも、大人のレザークラフト教室への参加を呼び掛けたが、身近なところにあるイノシシ革の魅力を体感できると考えている</li> <li>・岡山刑務所で毎年開催される矯正展には「産地牟佐塾」として2日間参画し、イノシシ革製品を販売させていただくが、去年は初めてチラシに紹介を掲載していただいた。チラシは、新聞折込もしているのですが、その周知に少しは役立つのではないかと。</li> <li>・過去に、学区で映画「いただきます。みそをつくる子ども達」の映画上映を行い好評であった。みそづくりは、他地域でも関心は高いと思われる。昨年も、一部他町内からも受け入れをしており、このような取り組みができる場所は多くないため、とても喜んでいただいている。</li> </ul>
<p>前年度からの見直し拡充点</p>	<p>※継続事業で申請される場合は、<u>前年度の事業の成果を踏まえ、今年度の事業の改善・拡充点を記載してください。また審査会での助言・コメント等について改善・拡充したこと、改善・拡充ができなかった場合は、改善・拡充ができなかった理由を記載してください。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・審査会からいただくご意見では、いつもお励ましをいただいております。感謝申し上げます。</li> <li>・アンテナショップ「みなとかぜ」（赤磐市：就労継続支援B型）への製品提供と、そこでの販売は継続するが、キャンペーン期間を設けるなど、いろいろとやり方に工夫があり、研究したい。多様な団体との新たな協働であり、引き続き連携を取りたい。</li> <li>・実施メンバー表のメンバーの高齢化について、イベントはほぼすべて子どもたちを中心に置いているものであり、子育て世代も理解をいただき、子ども会との協働で運営している。ただ、コアなスタッフまでには、なかなか難しいところ。子ども会には、約90名の小学生全員が加入しており、グループLINEで瞬時につながり、完全なペーパーレスでつながっている。したがって、イベント等の情報は、漏れなく伝わっており、多くの子どもたちも参加できていると感じている。ただ、子育て世代の両親は、共稼ぎであり、休みの日にはスポーツ少年団とお世話等でとても忙しくされている。したがって、コアなスタッフは、現役を引退した元気な高齢者で運営せざるを得ない。しかし、事業の目的は、間違いなく理解が進んでおり、開催日の</li> </ul>

	<p>数か月前から実行委員会方式で会議を重ねて準備にあたり、そこへは子ども会や若手婦人も参画し、十分に意見交換ができています。今年度の「産地牟佐」もちつき大会も例年より100名程度多い参加者があったことから、成果は出ていると考えています。現場に足をお運びいただければ、お判りいただけると思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人の掘り起こしについては、それこそが必須であり、最重要。それがあるから今日があるといっても過言ではない。何も形のなかったところから、これだけの事業を進めることができてるのは、各分野で優れたスキルをお持ちの方々の協力があるから実現できている。初めから、人がいたわけではない。現在は、どなたが欠けても、事業は困難であろうと考えるくらい、絶妙の協働のバランスがあって、ここまでやってこれたのは間違いないと考えているし、子どもたちにも、その旨を説明している。協力者を探り続けるのは当然だが、完全ボランティアの地域コミュニティとしての限界もある。しかし、そこへの挑戦は止めるわけにはいかないと思う。</li> <li>・前年度の「牟佐っ子子ども教室」でのアンケート調査では、①革作品づくりがとても楽しかった②ジビエカレーがとてもおいしかった③イノシシ革の有効利用のためにたくさんの人の協力がわかった等々、「牟佐っ子」に伝えたかった内容が記されていて、これも成果の一つではないだろうか。</li> <li>・今年度は、正式に「青大豆プロジェクト」をスタートし、「産地牟佐」の青大豆を使用したみそづくりに挑戦したい。</li> <li>・里山の資源を活用については、あまり進んでいないが、里山に多種存在する「産地牟佐」の樹木やどんぐりを資源として活用できないか。あるいは、戦後も続いてきたと聞く山中のあちこちで普通に行われていた炭焼きの復元ができないものか。人々が山から遠ざかり、荒廃が進む里山を資源として見つめなおすことを、さらに検討を続けてまいりたい。</li> </ul>
<p>次年度以降の予定</p>	<p>※今年度の事業を受けて次年度以後どのように活動を展開していくか、また資金の確保をどのように進めていくかをご記入ください。</p> <p>①次年度以後の活動計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き皮革が確保できるのであれば、同様のワークショップを開催。</li> <li>・引き続きアドバイスもいただき、ブランド化や安定した販売に取り組みたい。</li> <li>・アンテナショップを活用し、販売およびPRを続けたい。</li> <li>・相手が自然であるが、ジビエ、川ガニ、ニホンミツバチのはちみつ（百花蜜）なども、その味覚を地域に伝えたい。</li> <li>・「青大豆プロジェクト」を継続し、「産地牟佐」みそづくりを定着させたい。</li> <li>・みそづくりの拠点となり得る新たな場所の確保について調査を続けたい。</li> <li>・里山の自然資源（樹木、どんぐりなど）の活用を検討したい。</li> </ul> <p>②資金の確保について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/> 次年度も区づくり推進事業を申請する予定</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> (5)年後には、自己資金を確保して地域の独自展開をしていきたい。</li> </ul> <p>資金確保の具体的な方策：革製品販売（ネット販売も研究）、手づくりみそ販売（衛生基準を満たさない限り、外への販売は不可）</p>
<p>その他PRしたい点</p>	<p>農水省が実施した「平成29年度鳥獣被害対策優良活動表彰」の「捕獲鳥獣利活用部門」で、中四国農政局長賞をいただいた情報は、当局から情報発信され、市外の公民館からの視察受け入れや、大学生の卒業論文の取材受け入れるまでになった。平成30年度には「マニフェスト大賞優秀成果賞」、令和2年度には「岡山市協働のまちづくり賞」にて大賞を受賞、令和3年度には備前県民局より「地域づくり推進賞」を受賞させていただいた。さらに令和4年1月、第7回日本ジビエサミットにおいて、岡山市の「区づくり推進事業」の紹介（タイトルは「町内会が起点となった取組みの視点から」）のため登壇を予定していたが、コロナ禍拡大に伴い中止となってしまった。しかし、資料冊子だけは全国の参加申込者に対して配布いただいた。令和3年度の備前県民局からの地域づくり推進賞受賞団体として、令和4年11月に、伊原木岡山県知事との「生き生きトーク」への参加依頼があり、県知事を前に岡山市の「区づくり推進事業」をPRすることができた。</p>

事業スケジュール（企画会議や反省会も含めてご記入ください。日程が未定の場合は月だけで結構です。）

月日	活動内容
4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 牟佐の自然をテーマにした写真展準備作業</li> <li>・ 「産地牟佐」の蜂蜜づくり事業準備</li> <li>・ 「産地牟佐塾」開催（毎週木曜日午後）</li> <li>・ 「牧石学区ふれあいまつり」にて「産地牟佐」イノシシ革製品販売</li> <li>・ 年間を通して、フリーマーケット等で「産地牟佐」イノシシ革製品販売</li> <li>・ 年間を通して、アンテナショップ「みなとかぜ」（赤磐市：就労継続支援B型事業所）での販売</li> </ul>
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 町内会ほのぼの文化祭を活用し、牟佐の自然をテーマにした写真展の開催</li> <li>・ 「産地牟佐」のイノシシ革製品作成ワークショップ（「牟佐っ子」子ども教室）準備会議立ち上げ</li> <li>・ 「産地牟佐塾」開催（毎週木曜日午後）</li> </ul>
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 町内会新聞6月1日号にて、「産地牟佐」区づくり推進事業を紹介</li> <li>・ 「産地牟佐」のイノシシ革製品作成ワークショップ（「牟佐っ子」子ども教室）準備会議および作業</li> <li>・ 「産地牟佐塾」開催（毎週木曜日午後）</li> </ul>
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「産地牟佐」のイノシシ革製品作成ワークショップ（「牟佐っ子」子ども教室）の準備および開催（夏休み最初の日曜日）</li> <li>・ 「産地牟佐」の蜂蜜づくり事業紹介</li> <li>・ 「産地牟佐塾」（毎週木曜日午後）</li> </ul>
8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「産地牟佐塾」開催（毎週木曜日午後）</li> <li>・ 「産地牟佐」のイノシシ革製品作成ワークショップ準備</li> </ul>
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「産地牟佐塾」開催（毎週木曜日午後）</li> <li>・ 「産地牟佐」のイノシシ革製品作成ワークショップ準備</li> </ul>
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 町内会運動会を活用し、「産地牟佐」事業の紹介</li> <li>・ 「産地牟佐塾」開催（毎週木曜日午後）</li> <li>・ 岡山刑務所矯正展を活用し、「産地牟佐塾」イノシシ革製品販売</li> <li>・ 「産地牟佐」の革製品作成ワークショップ準備</li> <li>・ 野生鳥獣・林業振興パネル展（市役所1階ロビー）にて「産地牟佐」のイノシシ革製品販売および資源としての利活用を紹介。</li> <li>・ 「産地牟佐」みそづくり参加者募集</li> </ul>
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「産地牟佐塾」開催（毎週木曜日午後）</li> <li>・ 「産地牟佐」のイノシシ革製品作成ワークショップ準備会議（大人のレザークラフト教室）</li> <li>・ 牧山クラインガルテン収穫祭にて「産地牟佐」イノシシ革製品販売</li> <li>・ 「産地牟佐」みそづくり説明会開催</li> <li>・ 里山資源調査計画</li> </ul>
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「産地牟佐」のイノシシ革製品作成ワークショップ準備会議（大人のレザークラフト教室）</li> <li>・ 「産地牟佐塾」開催（毎週木曜日午後）</li> <li>・ もちつき大会を活用し、ジビエ料理ほか（しし汁、川ガニ（モクズガニ）、はちみつ、黄ニラ、新鮮野菜etc.）提供</li> <li>・ 「産地牟佐」の蜂蜜づくり事業紹介</li> </ul>
1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 町内会新聞新年号にて、「産地牟佐」の区づくり推進事業の取組み紹介</li> <li>・ 「産地牟佐塾」開催（毎週木曜日午後）</li> <li>・ 「産地牟佐」のイノシシ革製品作成ワークショップ準備会議（大人のレザークラフト教室）</li> <li>・ 「産地牟佐」みそづくりAチームから順番にスタート</li> <li>・ 里山の資源調査</li> </ul>

2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「産地牟佐塾」開催（毎週木曜日午後）</li> <li>・「産地牟佐」みそづくり最終チームの仕込み完了</li> <li>・「産地牟佐」のイノシシ革製品作成ワークショップ（大人のレザークラフト教室）開催</li> <li>・岡パク、黄ニラ即売会で「産地牟佐」イノシシ革製品販売</li> <li>・里山資源調査</li> </ul>
3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「産地牟佐塾」開催（毎週木曜日午後）</li> <li>・町内会総会にて、記録の発表・報告</li> <li>・反省会開催</li> </ul>

# 収支予算書

収 入

単位:円

項 目	前年度決算又は 決算見込額	予 算 額	内 容
岡山市補助金	405,000	460,000	
実施団体負担金	218,520	260,000	町内会負担金
参加者負担金	21,400	50,000	ワークショップ参加者 みそづくり参加者
協賛金	0	0	
寄附金、他収入	200,000	150,000	「産地牟佐」革製品販売
収入合計	844,920	920,000	

支 出

単位:円

項 目	前年度決算又は 決算見込額	予 算 額	内容(必ず記載してください)
①消耗品費	60,000	60,000	会議資料用紙、プリンターインク、 文具、記録媒体、皮革加工用道具類
②食糧費	0	0	
③印刷製本費	0	40,000	記録資料(紙)@50×100=5,000 記録資料(DVD)@50×100=5,000 カタログ作成1000部 30,000
④燃料費	20,000	20,000	「産地牟佐」もちつき大会ほか ジビエ料理ガス代
⑤光熱水費		0	
⑥通信運搬費	26,000	26,000	獣皮送料@1500×17回=25,500
⑦広告料		0	
⑧手数料	3,000	1,000	振込手数料、出店手数料
⑨使用料・賃借料	125,920	130,000	川カニかご使用料5,000、ニホンミツバチ巣箱使 用料5,000、レザークラフト道具使用料5,000 みそ加工自動発酵機リース料90,420、産地牟佐 塾ハンドプレス機リース料13,200 青大豆畑使用料5,000 収穫祭出店料2,600
⑩原材料費	130,000	130,000	レザークラフト材料70,000 もちつき大会材料 ジビエ料理「産地牟佐」材料60,000
⑪委託料	300,000	333,000	なめし加工代@8,000×35頭=280,000 皮はぎ加工代@1,500×35頭=52,500
⑫工事請負費		0	
⑬報償費	30,000	30,000	「産地牟佐塾」講師料@3000×10回=30,000
⑭保険料	150,000	150,000	ワークショップ2回延べ70人 「産地牟佐」もちつき大会延べ450人 みそづくり15班延べ約150人 産地牟佐塾50日延べ500人 矯正展、収穫祭、黄ニラ即売会、野生鳥獣林業 振興パネル展等出店
⑮旅費	0	0	
支出合計	844,920	920,000	

◆概算交付の要否(いずれかに○をしてください。)

補助金(3/4)の概算払いを	希望する ・ <input checked="" type="radio"/> 希望しない
----------------	---

※「希望する」場合は、その理由を具体的にお書きください。

- 内容欄へは使用用途等を記入してください。
- 記入欄が不足する場合は、欄を追加してください。